

## 研究協力のお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

当院における小児急性虫垂炎に対する待機的虫垂切除術の適応および治療成績

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2019年1月1日から2029年12月31日までに昭和医科大学江東豊洲病院小児外科で急性虫垂炎と診断され入院加療をおこなった患者さん

### 2. 研究目的・方法

急性虫垂炎では、炎症が激しい時期の緊急手術を避け、まずは抗菌薬で炎症を落ち着かせる治療を行い、数ヶ月後に改めて虫垂を切除する「待機的虫垂切除術（インターバル手術）」という治療法が広く行われています。この方法は、炎症が強い時期に手術を行うよりも、手術に伴う合併症のリスクを低く抑えられるメリットがあると考えられています。

本研究の目的は、当院におけるインターバル手術の現況（治療の結果や再発のリスクなど）を調査し、その安全性や有効性を明らかにすることです。調査方法は、過去の診療記録に基づき、虫垂炎の重症度や膿瘍形成の有無、治療経過、再発の有無などを統計的に分析いたします。本研究により、将来的に多くのお子さんが、個々の状況に応じた最適な治療を選択できるようになることを目指しています

### 3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2030年04月30日まで

### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景（性別、年齢、主訴、現病歴、既往歴、家族歴）、診断時情報（身長、体重、体温、血液検査項目（白血球数、CRP値）、病型、糞石および膿瘍形成の有無・大きさ）、治療情報（抗生剤の種類、入院期間、退院日から手術日までの期間）手術情報（術式、手術時間、出血量、術後合併症の有無）

